

令和8年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和8年3月9日

質問者（質問順）

- 1 こがゆ 康 弘 委 員 （国 民 主）
- 2 み わ 智恵美 委 員 （共 産 党）
- 3 山 田 一 誠 委 員 （自 民 党）
- 4 青 木 亮 祐 委 員 （自 民 党）
- 5 竹 内 康 洋 委 員 （公 明 党）
- 6 山 浦 英 太 委 員 （立 憲 党）
- 7 坂 井 太 委 員 （維 新 会）
- 8 横 山 正 人 委 員 （自 民 党）

政 策 経 営 局

局 別 審 査

1 こがゆ 康 弘 委員（国民主）

1 市民目線の経営サイクルについて

- (1) 14の政策分野はどのような考え方で決定したのか伺いたい。
- (2) 計画に掲げた「市民の実感」はどの程度の頻度で、どのような方法によって確認するのか伺いたい。
- (3) 「市民の実感」を高めるために、施策・事業の優先順位付けを誰がどのように判断するのか伺いたい。

2 GREEN×EXPO 2027 開催を契機としたメディアプロモーションについて

- (1) GREEN×EXPO 2027 開催を契機としたメディアプロモーションの取組内容について伺いたい。
- (2) 令和8年度のSNSを活用したプロモーション展開の内容について伺いたい。
- (3) GREEN×EXPO 2027のレガシーを生かしたシティプロモーションの考え方について伺いたい。

3 ネーミングライツ制度の見直しについて

- (1) 今般の日産スタジアムの経緯を踏まえた課題認識について伺いたい。
- (2) 想定される見直し後の具体的な手続のフローについて伺いたい。
- (3) 今回の見直しが制度全体に与える効果について伺いたい。
- (要望) 引き続き、制度のあるべき姿を検証・検討していただきたい。

2 みわ 智恵美 委員（共産党）

1 男女共同参画の推進について

- (1) 男女共同参画センターの機能強化に当たりアウトリーチを推進していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) アウトリーチの方向性として、デートDV等の予防教育に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 今後の施設の有効活用の考え方について伺いたい。
- (4) 市民局移管後も、男女共同参画の推進に当たり、男女共同参画推進課が果たす役割について伺いたい。
- (5) 機構改革後も変わらず、男女共同参画を推進していく市の決意について伺いたい。

2 指定管理者制度について

- (1) 指定管理者制度の運用改善の趣旨について伺いたい。
- (2) 物価及び賃金水準スライドの改正内容について伺いたい。
- (3) 自主事業に関する改正内容について伺いたい。
- (4) 指定管理者が今後も良好な施設運営を継続できるよう対応すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 指定管理者制度を廃止するよう、国に求めている。

1 データ経営の推進について

- (1) 令和8年度の予算編成における市民目線の経営サイクルの対象の施策群について伺いたい。
- (2) 令和8年度予算編成に生かされた事業数について伺いたい。
- (3) データ経営の目指すところについて伺いたい。
- (4) 大きな成果を上げたと評価される代表的な事業について伺いたい。
- (5) Plan・DoとCheck・Actionの主体は別なのか。また、「子どもの文化体験推進事業」の事例における主体について伺いたい。
- (6) 「子どもの文化体験推進事業」の当初の事業内容と結果について伺いたい。
- (7) 「市民の実感」につながるとはどういうことか伺いたい。
- (8) 「市民の実感」をどのように指標として設定したか伺いたい。
- (9) 「アウトカム指標」とは何か。また、その決定する基準について伺いたい。
- (10) 「子どもの文化体験推進事業」の事例における「プラン」について伺いたい。
- (11) 「データ」の収集・保管の主体と方法。また、どのようにCheck・Actionにつなげるのか伺いたい。
- (12) 「子どもの文化体験推進事業」の事例におけるデータの収集・保管の方法について伺いたい。
- (13) DDPの責任者とメンバーについて伺いたい。
- (14) 「子どもの文化体験推進事業」の事例における責任者とメンバーについて伺いたい。
- (15) ロジックモデルによる「施策と紐づく事業の関係性の確認」「データに基づく分析・検証」「今後の方向性の検討」の内容について伺いたい。
- (16) ロジックモデルとは何か伺いたい。

- (17) 「子どもの文化体験推進事業」の事例における「施策と紐づく事業の関係性の確認」等の内容について伺いたい。
- (18) 事業所管部署へのデータ経営手法の共有方法について伺いたい。
- (19) 各事業の検討状況と予算への反映状況や好事例を政策経営局が把握しているのか伺いたい。
- (20) 提示した課題を踏まえて、データ経営を進めていく所感を伺いたい。
- (要望) 好事例、好アプローチを、個々のプロジェクトで終わるのではなく、市全体で共有していただきたい。また、データ経営を進めるに当たっては、「データの向こう側にいる人」への創造力を働かせていただきたい。

4 青木亮祐委員（自民党）

1 規制見直しによる機能誘導について

- （１）本市の土地利用制度の現状と課題について伺いたい。
- （２）新たな中期計画の「明日をひらく都市プロジェクト」の中に「規制見直しを通じた機能誘導」を位置付けた狙いについて伺いたい。
- （３）規制見直しを進めるに当たっての政策経営局の役割について伺いたい。
- （４）新たな中期計画に示す「規制見直しを通じた機能誘導」は、政策経営局が全庁的にリーダーシップを発揮して進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- （要望）国の成長戦略と連動し、横浜の発展へとつなげていく攻めの姿勢で、戦略的にまちづくりを進めていただきたい。

2 海洋施策の推進について

- （１）これまでの海洋人材育成の取組状況について伺いたい。
- （２）OXEXPO 2026 の開催概要について伺いたい。
- （３）OXEXPO 2026 はどのような特徴を持った海洋展示会となるのか伺いたい。
- （４）これからの海洋都市横浜の発展に向けた取組について伺いたい。

3 横浜移住サイトについて

- （１）検索エンジンからサイト閲覧者を増やすための取組について伺いたい。
- （２）アクセス状況について伺いたい。
- （３）閲覧者の意識変容の測定手法について伺いたい。
- （４）居住促進プロモーションの今後の戦略について伺いたい。

(要望) 横浜の強みを市内外の方々へ発信し、今後も多くの皆様に「横浜に住みたい・住み続けたい」と思っていただけのようなサイト運営をしていただきたい。

4 これからの共創推進について

- (1) 共創と協働を一体的に推進する意義について伺いたい。
- (2) 共創とファシリティマネジメントを一体的に推進する意義について伺いたい。
- (3) これからの共創が目指す姿について伺いたい。

5 多様な主体によるオープンイノベーションの推進について

- (1) 令和7年度における市内のリビングラボの取組について伺いたい。
- (2) こども・若者による公民連携の取組について伺いたい。
- (3) 今後のオープンイノベーションの方向性について伺いたい。

5 竹内康洋委員（公明党）

1 公民連携による共生社会の実現について

- （1）公民連携による共生社会の推進に向けた取組について伺いたい。
- （2）竹山団地における活動の見える化と取組効果について伺いたい。
- （3）サーキュラーエコノミーplusの活動成果を可視化する令和8年度の取組について伺いたい。
- （4）学生や教育機関との連携も強化しながら公民連携により共生社会を推進していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 防災における男女共同参画の推進について

- （1）「わたしの防災カノート」の更新状況について伺いたい。
- （2）第6次横浜市男女共同参画行動計画の推進に向けた令和8年度の取組について伺いたい。
- （3）男女共同参画の視点を取り入れた防災研修の効果を高めるための工夫について伺いたい。
- （4）全拠点への多様なニーズを取り入れた訓練拡大に向けた今後の取組について伺いたい。

3 区局による財源確保策の取組推進について

- （1）区局による財源確保策活用拡大に向けたこの3年間の取組について伺いたい。
- （2）構築した財源確保を進めるための環境を生かし、一層の実績拡大につなげるための工夫について伺いたい。
- （3）今後の全庁的な財源確保策の取組推進に向けた決意について伺いたい。

4 新たな魅力発信に向けたシティプロモーションについて

- (1) 「横浜クラフトビールアソシエーション」における本市のサポーターとしての役割について伺いたい。
- (2) クラフトビールを魅力の一つとして着目した理由について伺いたい。
- (3) 「横浜クラフトビールアソシエーション」の取組をどのように横浜のブランド価値向上につなげていくのか伺いたい。
- (4) GREEN×EXPO 2027に向けて、オール横浜での魅力づくりにどのように取り組んでいくのか伺いたい。

6 山 浦 英 太 委員（立憲党）

1 グローバル都市戦略について

- (1) 海外事務所の8年度の活動について伺いたい。
- (2) 海外事務所の活動の効果や成果をどのように可視化し、評価・発信していくのか伺いたい。
- (3) 海外事務所の職員について、為替や現地物価の変動の影響を受けにくい給与体系など、働きやすい環境整備と、海外事務所にかける思いについて伺いたい。
- (要望) 活動成果をわかりやすく示し、市民の理解と信頼を得ること。そして現地で活動する職員が安心して能力を発揮できる環境を整えていただきたい。

2 個人版ふるさと納税の制度改正を受けた今後の展開について

- (1) 本市における制度改正に向けた対応について伺いたい。
- (2) 寄附管理等業務委託を今後複数年度契約とする狙いについて伺いたい。
- (3) 他都市における複数年度契約の導入状況について伺いたい。
- (4) 個人版ふるさと納税の寄附獲得に向けた今後の意気込みを伺いたい。

3 シティプロモーションと民間連携について

- (1) 本市の居住促進プロモーションの取組状況について伺いたい。
- (2) 居住促進プロモーションを全庁的に進めていく上での取組について伺いたい。
- (3) 民間企業と連携した居住促進プロモーションの取組事例について伺いたい。
- (4) 民間企業と連携したプロモーションの成果について伺いたい。
- (5) 今後の民間連携の展望について伺いたい。

4 男性のための相談について

- (1) 相談の中で深刻な孤立や危機的状況が把握された場合の対応について伺いたい。
- (2) 令和8年度以降の本格実施に向けた関係局との連携の認識について伺いたい。
- (3) 本格実施に向けた周知の広げ方について伺いたい。
- (4) 男性が抱える課題への対応に係る今後の施策への発展について伺いたい。

- 1 新たな中期計画の策定に向けた市民意見の反映について
 - （１）より多くの声を集めるために行った取組について伺いたい。
 - （２）パブリックコメントの実施状況について伺いたい。
 - （３）パブリックコメントの実施状況に対する現在の所感を伺いたい。
 - （４）パブリックコメントで把握した意見を原案にどう生かしていくのか現時点の考えについて伺いたい。
 - （５）中期計画の実施段階においても、市民意見を継続的に取り入れる仕組みを設けるべきと考えるが、見解を伺いたい。

（要望）これまでの中期計画以上に市民の実感を把握することはもちろん、丁寧に分析して、市民の声を本市政策に生かしていただきたい。

- 2 市民参加型プロモーションについて
 - （１）市民参加型プロモーションの概要について伺いたい。
 - （２）市民参加型プロモーションの参加状況について伺いたい。
 - （３）参加した市民の皆様の反応について伺いたい。
 - （４）令和８年度の実施内容について伺いたい。
 - （５）令和８年度はより多くの市民の皆様にご参画いただく展開にしていきたいと考えるが、見解を伺いたい。

1 映画「フロントライン」から考える大都市制度について

- (1) 横浜フィルムコミッション事業の目的について伺いたい。
- (2) 撮影支援の決定プロセスについて伺いたい。
- (3) 「フロントライン」は横浜フィルムコミッションの支援作品か伺いたい。
- (4) 横浜市の対応に関するセリフは支援決定前に確認していたのか伺いたい。
- (5) 誤解されるような表現を正すよう申し入れすべきだったと考えるが、見解を伺いたい。
- (6) 今後の支援決定に当たり、横浜のブランドにとってマイナスになりうるものは慎重に判断すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 新型コロナウイルス対応において、県に権限や財源が集中していることにより生じた支障事例について伺いたい。
- (8) 地方自治法の特例における国と地方の関係について伺いたい。
- (9) 感染症対策における権限や財源の移譲の実現に向けた国への働きかけについて伺いたい。
- (10) 本で行われたやり取りに対する所感と特別市実現に向けた意気込みを伺いたい。

2 ネーミングライツについて

- (1) 優先交渉権の見直しの理由と意図について伺いたい。
- (2) 各区に設置されている区民利用施設における導入状況について伺いたい。
- (3) 区民文化センター、公会堂、スポーツセンター等の各区に立地する施設においても、市場調査を行うなど導入検討を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 市全体における、より幅広い施設での導入に向けた令和8年度の取組について伺いたい。
- (要望) 必要な施設のサービスを維持していくため、民間と win-win の関係の中で、導入可能な施設については積極的に進めていただきたい。